

2月は4%減の16万TEU

■神戸港、2カ月ぶりマイナス

神戸市港湾局が20日に発表した、2月の外貿コンテナ取扱量は前年同月比4.0%減の15万5452TEUとなった。2カ月ぶりの減少となった。輸出が7.2%減の8万6290TEU、輸入が0.4%増の6万9163TEUだった。これにより、1～2月累計では前年同期比2.5%減の31万1713TEUとなった。輸出が2.8%減の16万5957TEU、輸入が2.0%減の14万5756TEUだった。

同日発表した1月のコンテナ取扱量は0.9%増の20万6097TEUだった。外貿は1.0%減の15万6261TEUと減少したが、内貿は7.4%増の4万9836TEUと増加した。実入り輸出は15.0%増の6万1955TEU、実入り輸入は2.4%減の7万2781TEU、実入り移出は2.1%減

の1万978TEU、実入り移入は10.3%増の1万5943TEUだった。

1月の外貿コンテナを国・地域別に見ると、輸出は中国向けが9.6%増の3万2472TEU、韓国向けが0.6%減の8013TEU、台湾向けが22.0%増の7372TEU、シンガポール向けが22.9%減の7055TEU、ベトナム向けが44.7%増の5396TEUだった。輸入は中国出しが7.7%増の3万3553TEU、米国出しが27.7%減の8066TEU、シンガポール出しが1.4%増の5911TEU、韓国出しが25.2%減の5823TEU、台湾出しが5.0%増の5193TEUだった。

1月の総貨物取扱量は1.9%増の726万トンとなった。外貿が2.8%増の378万トン、内貿が0.9%増の348万トンとなり、輸出が17.3%増

の148万トン、輸入が4.8%減の230万トン、移出が1.7%増の146万トン、移入が0.3%増の202万トンとなった。

外貿の品目別では、輸出は産業機械が24.0%増の27万トン、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品が27.5%増の23万トン、完成自動車が増の16万トン、自動車部品が10.8%増の11万トン、鋼材が2.4%増の9万トンだった。輸入は石炭が17.0%減の47万トン、衣服・身廻品・はきものが16.1%減の16万トン、製造食品が6.2%減の12万トン、染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品が11.7%減の12万トン、化学薬品が1.6%減の10万トンとなった。

1月の総入港隻数は2.7%増の2285隻となり、このうち外航のフルコンテナ船は10.2%増の303隻だった。